

「天保の四大家」と称された孤高の国学者の墨蹟

たちばなのもりべい ぼく

橘 守 部 遺 墨



橘守部は、江戸時代中期の天明元年（1781）に伊勢で生まれた国学者です。
独学で国学を学び、後に賀茂真淵らの流れをくむ復古主義の国学の権威となり、
斎藤昌麿が師事したころには伴信友、平田篤胤、香川景樹らとともに、当代国
学四大家の一人と称されました。この遺墨には、守部が書いた色紙や短冊、巻物、
掛け軸などがあります。

市指定文化財：有形文化財（書跡）

指定年月日：昭和40年2月20日

所在地：木更津市小浜

所有者：個人

員数：23点

公開・非公開の別：非公開
